

## 第十三回 中央教化研究会議

# 教化活動の實踐目標

### 各部会方針・努力目標と要望事項

#### 1 数学部会

一、日蓮聖人における報恩精神の徹底普及を図り、『立正安国論』と立正安国の教えを学びなおし、立正安国の願業を活現する事により、社会を浄め人間の心を浄める立正安国浄行の運動に取組んでいこう。

一、『立正安国論』のテキストづくりに努め、檀信徒未信徒に立正安国の精神を説いていこう。

#### 2 寺檀部会

一、弘教の三軌、五種の妙行を根幹として教師は信行への姿勢を正すと共に、教化に重要な役割をはたす寺庭婦人の研鑽に力を注いでいこう。

一、寺院を単なる法要儀式の場としてのみとらえず、追善法要や種々の行事を工夫しつつ、檀信徒教化と研修の場として活用していこう。

一、教師は、檀信徒の家に赴く時も常に教化を心がけ、機会があれば地域社会のあらゆる分野に参加し、その役職につくなどして地域の人々と縁を結びつつ積極的に教化活動を行っていこう。

一、教化事例、方策を盛りこみ「檀信徒教化の手引」の編集に着手し、広く各地の教師に教化事例の報告を求め、布教の一助となる手引を作成していこう。

#### 3 法器育成部会

一、幼少年期から住職教師に至るまでの持続的で一貫した総合カリキュラムにもとずいた僧風教育・僧侶再教育の機関を充実確立させ、宗門の担い手である法器育成に全力をあげて取組むよう宗務当局に要請していこう。

#### 4 青少年部会

一、青少年教化の実態を調査し、青少年問題に取組んでいる教師間の体験と意見の交流を促進すると共に、この教師の声を反映させるため青少年対策推進課の設置と実動を要望していこう。

一、法華経精神を実践する立場から対外的に青少年問題に取組んでいる人々や福祉青年会と連携し青少年教化をめざしていこう。

#### 5 文書伝道部会

一、教研会議の記録を含む多様な布教資料の記録・収集・保存のみならず、教材資料の分類整理を実施する資料交流の方法を確立していこう。

一、速やかに中央教化センターを設立し、中央・地方間の資料交流に関する目標・分類整理の項目を作成していこう。

#### 6 社会問題部会

一、現代物質文明のもたらした危機的様相を直視し、法華経と日蓮聖人の教えにもとづく信仰的立場から立正平和の理念を深め靖国神社国営化反対・被爆者救援などをはじめとする不戦平和の課題に取組んでいこう。

一、寺院教師をとりまく地域の身近な諸問題に取組み、多面的な活動を展開することを通して社会教化を図り日蓮聖人の教えを具体的に示していこう。

#### 7 教化組織部会

一、管区・教区・中央のタテとヨコにわたる教化組織の再編を行ない、教化研究会を中核とする教師間の地域的交流と組織化への充実強化をめざしていこう。

一、中央に教化センターを早急に設置することを宗務当局に要望すると共に、地域教化センターを設置実動するようさらに努力し要請していこう。

一、教化の各分野別部会を充実拡大させるため、一人ひとりが希望する部会に参画し、すべての住職教師が必ず希望する部会に参加するよう呼びかけていこう。

### 決議事項

- (1) 「京都市空カン条例専門委員会の中間答申を支持する」文書に賛同し教研会議の名で表明する件
- (2) 七百遠忌正当年（明年）十月十三日にならず臨滅度時の鐘をテレビ放送するよう当局において実現せしめる努力を要請する。また当日各寺にて一斉に鐘をならし檀信徒と共に報恩の誠をささげるよう当局より指示通達するよう要望する件

## 要 望 書

日蓮聖人第七百遠忌報恩奉行会長

日蓮宗宗務総長

松 村 寿 顕 殿

第七百遠忌正当日時に臨滅度時の鐘声を放送し、全国寺院においても鐘を打つことを提案する件

私たち日蓮宗教師は、昭和五十五年九月四、五日池上本門寺を会場として、第十三回中央教化研究会議に集まり「立正安国の精神と八十年代の教化活動」の統一テーマのもと、七部会に分れて熱心に研究討議を重ねました。そして、七百遠忌と遠忌以降の伝道体制を強化し檀信徒をはじめ社会大衆をいかに教化すべきかを語りあいました。

この研究討議にもとずき、宗門行事の一環として、次の事を宗門あげて実施してほしい旨要望するとの結論に達しました。

七百遠忌ご正當の昭和五十六年十月十三日午前八時（または宗門として特定する時刻）に、テレビおよびラジオを通じ

て「臨滅度の鐘」の音を全国に放送し、同時刻に全国各地の日蓮宗寺院教会結社においても、梵鐘または太鼓等を打つ事。また檀信徒に対して（八時のいのり）を行うよう教導する事。

この鐘声は、日蓮聖人に対する報恩の鐘であり、檀信徒の信仰増進とその自覚をうながす鐘であり、現代社会の危機に對する警鐘であり、遠忌以後の広宣流布へ踏み出す鐘であり、日蓮宗僧侶として法華経と日蓮聖人の教えを、教化活動の推進を通して現代に活かしていく誓願の鐘である、との趣旨をあらかじめ文書揭示で広報しマスメディアを活用して宣伝し、広く全国民に向けての遠忌布教を展開する行事とする事。

右の提案を報恩奉行会において検討され、実行にうつして下さるよう、第十三回中央教化研究会議参加全員の賛同をもつて要望いたします。

昭和五十五年九月五日

第十三回 中央教化研究会議